

ボランティアネット通信

2023年版

NPO法人

ボランティアネット

茨城県古河市水海三〇一九

Tel 0280-23-1441

090-3097-4640

Fax 0280-23-1446

今年の活動報告

これは、人間という生物がこの世界で生き残るため、避けられない業なかもしれませんが、

しかし、人間はそれだけの存在ではないことを、私達は知っています。

互いの尊厳を尊重しあい、苦しんでいる人に対しては寄り添い、悲しんでいる人の姿を見て共に涙を流すことができる。

「共に生きる」ことが、今問われていると思います。私たちの活動がそのきっかけとなることを祈りつつ、今年も活動を続けていきます。

二〇二三年十一月二十六日

常総新花火

11月26日(土)、茨城県

常総市で開催された「常総新花火」の会場で、チャリティラーメンを販売しました。

2015年に決壊した鬼怒川の堤防、その近くの民家の庭をお借りし、ラーメンを販売します。

販売価格は「お気持ちワンコイン」。



募金と言うことで、皆様のお気持ちをそのまま募金箱に入れていただくことにしました。

10円、100円、500円。



自分と自分の仲間が生きるために、自分たち以外の他者を排除していく。

コロナ禍は、世界と私たちに深刻な影響を与え、その影響は今も続いています。ウクライナの動乱もまだ収束の見込みは立たず、被害を受けた人々は毎日増え続けています。

二〇一三年三月十日―十一日

東日本大震災十二年目の軌跡

震災より12年がたちました。ここ数年はコロナ禍により活動を自粛していましたが、干支一巡りという御縁もあり、今までの活動を振り返り、そしてこれから活動を直すため、ご縁のある場所を再び巡ることにしました。



双葉町駅（常磐線）の駅前ロータリー。建設中の施設が各所に見られる

【福島県双葉町駅】

福島県双葉町は、福島第一原発から4キロほどしか離れておらず、2022年8月までほぼ全域が帰宅困難区域に指定されていました。

入居者を増やし、町を復興させるため、双葉町駅周辺では様々な事業を起こしていますが、まずは都市機能・生活機能を整えるところから始めねばならず、ある意味復興から最も遠い場所にある地区に思えます。



復興活動を担当している方と会談。「活動は、まだまだ始まったばかりです」。

【宮城県石巻市】

当初より活動を続けてきた石巻市です。市内各地を回っても、震災の被害は探さなければ見つからないほどに、都市が栄えていました。



水浜地区の皆様と会食しながら、今後の見通しや、活動方針を打ち合わせます。まず、現地の人々の声を聞くことが、我々の支援活動の根底にあります。

私たちは、雄勝病院跡に作られた慰霊塔の前で、2時46分を迎え、静かに黙祷をしました。



【福島県二本松市】

ウクライナ難民支援活動に協力している寺院「真行寺」に向かいました。

「真行寺」



真行寺（浄土真宗 真宗大谷派）の山門



幼稚園園庭の、放射線測定器

住職・佐々木道範さんは、放射能汚染から子ども達を守るための活動をずっと続けてきており、私たちNPOとも懇意にしている方です。

募金活動で集めた支援金を渡し、今後の活動について語り合いました。



除夜の鐘に集まった皆様。中にはかつて共に東北で活動した仲間の姿もありました。

常総新花火と同様、年末の古河市でチャリティーラメンを販売しました。

除夜の鐘にあわせて、夕刻から深夜にかけての活動です。多くの方が募金してくださいました。

茨城県古河市

二〇二三年十一月三十一日

正会員・賛助会員・寄付者 (敬称略・順不同)

(期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(有)谷駒 梁河 綾子、Studio-Pop hair 樫山達也、秋津 秀樹、葦原 由美子、荒川 保、池田 幸裕、石川 真樹、今泉 温資、岩城 芳文、岩松 知也、因宗寺 柏女 有教、梅溪 得文、圓鏡寺、圓光寺、柿沼 正男、菊池 弘昭、狐野 やよい、木下 彰子、雲国寺、桑原 正信、光照寺、光明寺 小林 尚樹、光明寺 三浦 大悟、古賀 美津子、小島 森一、佐々木 誠正、澤田 恵子、宗教法人 浄真寺、正恩寺、正覚寺 山吹 照久、勝願寺 井上 証、正行寺、浄泉寺、浄善寺、正蔵寺、聖徳寺、称念寺、常福寺 八田 信雄、常福寺 八田 裕生、乗満寺 遠藤 賢順、白山 勝久、真福寺 秦 康昭、専行寺(平松 正信)、専勝寺 碧海 宏、宗泉寺 旦保 立子、相馬 法道、存明寺 酒井 義一、田上 翼、託法寺、忠綱寺、長願寺 海 法龍、聴法寺、通覚寺、塚寄 洋子、等覚寺 小田 昭彦、東弘寺、中村 由美子、西円寺、西願寺 友松 雅英、延岡 潤照、橋本 コノミ、橋本 はる子、蓮尾 千夏子、蓮原 耕児、秦 秀人、坂東 性悦、東出 睦治、藤場 芳子、法善寺、本多 雅人、増田 せつ子、松野 祐、松本 きみ子、妙安寺(一ノ谷)、妙安寺(みむら)、明覚寺 小野 秀之、明超寺、妙徳寺、明福寺、山中 なつ、唯心寺 宍戸 将、横田 洋、吉田 幸代、吉弘 祐子、了因寺 同朋の会、了因寺 吉岡 康裕、了覚寺 加藤 慈子、蓮慶寺、狛一、諦聴寺、佑浩寺 酒井 裕、櫻 歩

皆様からの御寄附、心より感謝申し上げます

今後の活動について

当NPOが結成された当時、その理念として、次の言葉があげられました。

災害や障害、家庭環境など様々な事情で、助けを求め方は沢山います。

また様々な理由により、人生の生きがいを見つけれない方もいます。

このような社会的弱者等自力では生活出来ない人たちの為に、災害支援事業・地域の人々の交流や情報交換等の事業、また、健やかに暮らせる為の子供達の健全育成事業や、社会教育の推進事業などを行い、活力ある社会を作りたいと考えています。



2011年11月6日、飯野川高北校仮設より見えた虹。いつまでも忘れることのできない光景です。

コロナ禍で混乱した社会情勢の中、当NPOの活動も停滞しつつあり、時には迷走する恐れもあります。

「迷ったときは、原点に戻ってみる」という格言にならない、私達は上の言葉を常に胸に刻み、各地の協力者とともに、小規模な活動を、少しずつ続けていこうと考えています。

ご協力をお願い

「NPO法人 ボランティアネット」は、現在も支援活動を続けており、また活動を支えてくださる、「正会員」「賛助会員」を募集しております。

また、ご寄付も随時受け付けております。

「ゆうちょ銀行」での寄付を希望される方は、ご連絡ください。振込用紙を送付いたします。

「銀行振り込み」の場合は、左記の口座への振り込みをお願いします。

みずほ銀行 古河支店 (279)

普通 1253546

口座名:

特定非営利活動法人

災害ボランティアネット

編集後記

「迷ったときは、原点に戻ってみる」

これは、迷子になった時の鉄則だそうだが、実際には活用されにくい鉄則のようだ。

「自分が迷っている」ことに気づくことが、とても難しいからだそう。

「不要・不急を自粛することが、本当に必要・必急のことを考える時間をくれた」ことから、落ち着いて、自分の置かれた状況を把握する時間を、常に意識したいものだ。

(文責・大内崇久)